

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会
定例総会議題

<第1号議案>

役員の変更について P 1

<第2号議案>

令和7年度の主な実績 P 2～11

令和7年度決算（案） P 12～14

<第3号議案>

令和8年度事業（案） P 15～18

令和8年度予算（案） P 19～20

<第4号議案>

ユネスコへの定期報告について P 21～25

<第1号議案>

役員改選について

1. 現行役員

職名	役員職	氏名
会長	NPO法人大分環境カウンセラー協会理事長 (日本文理大学名誉教授)	杉浦 嘉雄
副会長	宮崎大学教授	藤掛 一郎
監事	佐伯市長	富高 国子
	延岡市長	三浦 久知

2. 新任役員任期

2年

3. 会則における規定

○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会会則（抜粋）
(役員)

第4条 推進協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

2 会長は、委員の互選により選出する。

3 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長及び監事は、委員のうちから会長が任命する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

6 監事は、推進協議会の会計及び会務を監査する。

(役員任期)

第5条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

3 欠員補充のため選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和7年度の主な実績

〈会議等開催状況〉

推進協議会総会 【大分県】	令和6年度の実績及び令和7年度の予算案、30by30アライアンスへの加盟等について協議した。 日 時：令和7年5月28日（水） 場 所：延岡市役所（対面開催）
学術委員会 【宮崎県】	8月、11月、2月、3月の4回、すべてオンラインで開催。ユネスコへの定期報告書に係る助言や、緩衝・移行地域自然環境調査助成事業の内容、調査研究結果の地域への還元等について協議した。
PR・普及啓発部会 【佐伯市】	登録10周年記念事業案等について協議した。 開催日：令和7年7月17日（木）オンライン 令和8年3月17日（火）オンライン
観光・産業振興部会 【豊後大野市】	ブランド認証制度改正やガイド人材育成について協議した。 開催日：令和7年7月31日（木）対面・オンライン併用 令和8年1月16日（金）対面・オンライン併用
環境保全・人材育成部会 【延岡市】	自然共生サイトや環境保全活動支援事業について協議した。 開催日：令和7年10月28日（火）対面 令和8年 2月12日（木）対面
定期報告書作成 ワーキンググループ 【佐伯市】	ユネスコへの定期報告書を分担して執筆しつつ、ワーキンググループを開いて学術委員会からのレビューへの対応や内容の充実を図った。 会議開催数：5回（6月、10月、12月、2月、3月）
日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN） 【宮崎県】	・7月に東京都で総会を開催し関係団体と情報交換を行った。 ・役員改選で会長が祖母・傾・大崩ユネスコエコパークから大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークへ交代した。 ・11月に甲府市で行われた運営ワーキンググループに参加し、定期報告に関する意見交換や世界大会での動きに関する情報共有、甲武信ユネスコエコパークの視察を行った。

〈推進協議会事業〉

項 目	概 要
基本方針 I 貴重な生態系の持続的な保全	
調査研究推進事業	
1 緩衝・移行地域自然環境調査(公募型)の実施 (1,544千円) 【宮崎県】	緩衝・移行地域の基礎的な調査研究を行うことを目的として、調査研究事業を募集し、令和7年度は4件の調査者に対して助成を行った。
2 祖母山9合目付近植生調査の実施 (400千円) 【大分県】	登山者が集中する祖母山9合目付近において、希少植物の状況を把握するため、専門家による調査を実施した。 3年間にわたる調査で、レッドリスト掲載種を含む158種の植物を確認した。一方で、林床は下層植生の衰退やシカによる食害などが確認された。

地域住民主体の保全活動推進事業

1 住民活動団体情報
交換会の開催
(ネットワーク化)
(115 千円)
【宮崎県】

令和7年度は、住民活動団体の活動の継続や、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの将来への期待などについて意見交換を行った。また、新たな取り組みとして、団体の相互視察を行った。

<第1回>

開催日：令和7年11月5日（水）

場 所：日之影町役場町民ホール 及び

日之影キャンプ村周辺（森林セラピー体験）

参加者：29名

<第2回>

開催日：令和8年2月12日（木）

場 所：宇目振興局 及び

天神原自然公園（カエデ樹液の採取体験）

参加者：28名



2 地域全体で取り組む環境保全活動
(66 千円)
【佐伯市】

清掃活動を通じた環境保全意識の向上及び地域住民主体の自然保全活動推進を目的とし、清掃イベント「第3回 Clean 活動デー in 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」を開催した。参加者へ記念品として、オリジナルグッズを進呈した。

開催日：令和7年11月29日（土）

※10月25日（土）【竹田市】

※11月 9日（日）【延岡市】

参加者：120名



3 環境保全活動実施団体への支援
(610 千円)
【豊後大野市】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークエリア内で活動する7団体に対し、環境保全活動や地域の案内につながる環境整備事業への補助金を交付した。

- ①柴北川を愛する会（柴北川河川敷の美化活動）
- ②豊後大野市山岳会（登山等の整備のための機材購入）
- ③ミツバチが育む山郷（カエデの植栽による森林整備）
- ④延岡チェンソーアートレンジャー部隊（防鹿ネット設置、登山道整備等）
- ⑤高千穂森の会（烏屋岳悠久の森の散策用標柱設置）
- ⑥ゴマ姫の草原を守る会（希少種保護ネット設置及び補修）
- ⑦高千穂山の会（登山等の整備のための材料購入）

基本方針Ⅱ 学術的研究や調査・研修への支援

次世代育成事業

1 6市町交流キャンプの開催
(650千円)
【大分県】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークとして登録された豊かな自然の中での交流を通じ、心の豊かさや環境保全意識、郷土への愛着を醸成するため、小学4～6年生対象のキャンプを開催した。

開催日：令和7年8月18日（月）、19日（火）

場 所：豊後大野市内（ロジキよかわ 泊）

参加者：17名

（佐伯市5名、竹田市4名、豊後大野市3名、延岡市4名、高千穂町1名）



2 高校生夏休み学習・研究プログラム
(226千円)
【大分県】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを若年層へ訴求するため、ユネスコスクールと協力してエリア内での高校生による研究活動と県域を跨いだ交流を実施した。

開催日：令和7年8月4日（月）、5日（火）

場 所：神角寺溪谷及び普光寺[豊後大野市]

家田湿原[延岡市]

北川ダム[佐伯市]

参加者：大分県立三重総合高校 自然科学部 10名

宮崎県立延岡高校 サイエンス部 14名

内 容：希少種を含む植生の観察、ダム施設の視察、ユネスコエコパークや生態系に関する講話及び学校間交流



3 次世代育成事業
の実施
(1,161千円)
【各市町】

次世代を担う子どもたちを、自然を敬い、地域に誇りを持つ人材に育てることを目的に、各市町が特色ある取り組みを実施した。

<佐伯市>

○ユネスコエコパーク体感事業

市内小学校を対象に、地元の自然の素晴らしさを体感してもらうため、キャニオニング体験を実施した。

開催日：令和7年8月28日（木）、29日（金）

場 所：藤河内溪谷

参加者：下堅田小学校5年生 27名

佐伯東小学校4年生 27名



<竹田市>

○竹びなづくり体験ワークショップ

郷土の文化と自然への理解を深めるため、竹文化体験と祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの解説マンガを使った啓発を実施した。

開催日：令和8年2月21日（土）、28日（土）

場 所：竹田創生館

参加者：児童27名、保護者17名



<豊後大野市>

○豊後大野市子ども神楽大会

地域の歴史や文化に自信と誇りを持つ郷土愛豊かな次世代の育成を目的に、豊後大野市内外の子ども神楽4団体による神楽大会を開催した。

開催日：令和8年2月7日（土）

場 所：豊後大野市神楽会館

参加者：約400名（うち演者約40名）



<延岡市>

○ユネスコエコパークを身近に感じる大学生学習プログラム
九州医療科学大学の学生を対象に、河川の構造や水害の講義、漕艇技術及びレスキュー研修、河川清掃を実施した。

開催日：令和7年8月19日（火）～21日（木）

場 所：ホテルの館周辺

参加者：学生27名、教員・スタッフ5名



<高千穂町>

○高千穂の夜神楽こども伝承者の集い

地域ごとに行われている歴史文化にちなんだ神楽を子どもたちに引き継いでいくため、神楽大会を開催した。

開催日：令和8年2月23日（月）

場 所：高千穂神社神楽殿

参加者：こども演者83名、来場者約200名



<日之影町>

○日之影町神楽まつり

伝統を次世代に継承するとともに、神楽を通じて自然を敬う気持ちを育むため、町内外から神楽団体を招聘して神楽大会を開催した。

開催日：令和7年11月8日（土）

場 所：日之影町神楽殿

参加者：演者39名（うち未成年11名）



B R 活動情報発信事業

- 1 子ども向け解説冊子の増刷
(335 千円)
【竹田市】

次世代を担う子どもたちに配布するため、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク解説冊子（漫画版）」を2,400部増刷した。
エリア内の小学4年生や、イベント出展時の来場者へ配布する。



- 2 公式ホームページ改修
(1,637 千円)
【宮崎県】

新

ホームページ利用者の閲覧性及び利便性を高め、効果的な情報発信を図るため、全体のデザインを改修するとともに、観光情報やブランド認証品紹介ページの追加、掲載内容の更新を行った。
※トップページ



※観光情報ページ



- 3 公式ホームページの保守管理
(83 千円)
【宮崎県】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの普及啓発や情報発信を行うため公式ホームページの保守管理を実施した。

基本方針Ⅲ 自然と共生した持続可能な発展

PR・普及啓発事業

1 普及啓発グッズ等の製作
(734千円)
【延岡市、日之影町】

イベント等で配布する普及啓発グッズを製作した。
○缶バッジ2,600個 ○エコバッグ1,200枚



2 バス広告掲載
(314千円)
【高千穂町】

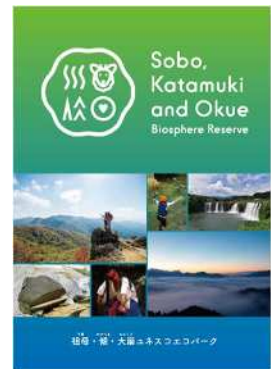
新

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの認知度拡大を目的に、大分市及び宮崎市内で運行するバスに広告を掲出した。
運行会社：大分バス、宮崎交通
掲出台数：計6台（大分3台、宮崎3台）
掲出期間：6か月



3 公式パンフレット印刷
(800千円)
【日之影町】

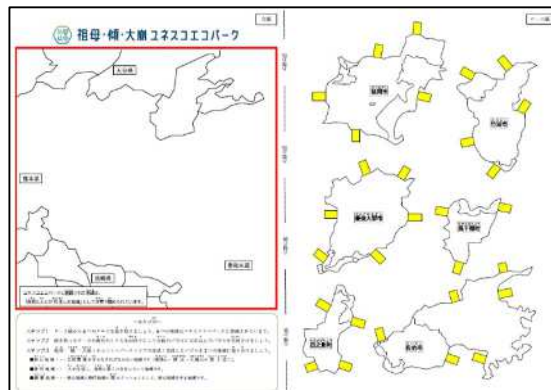
令和6年度にデータ制作した公式パンフレットを印刷し、各自治体に配布して普及啓発に活用した。
印刷部数：11,500部



4 エコパークゲームの作成
(187千円)
【佐伯市】

新

ブース出展等でのワークショップで活用する、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークエリアの地図パズルを作成した。
製作数：1,000セット



新

5 インフルエンサー
を活用した情報発信
(660 千円)
【竹田市】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークエリアの地域の魅力等を広く発信するため、インフルエンサーを活用し、広告配信を含め、公式 Instagram アカウントによるプロモーションを実施した。

投稿本数：12本（各市町2本ずつ）

投稿結果：総再生数 91,992回

新規フォロワー数 443名

総いいね数 2,659回

※いずれも令和8年3月31日時点



6 祖母・傾・大崩
ユネスコエコパ
ークフェア
(74 千円)
【宮崎県】

公益財団法人イオン環境財団との共催により、令和7年度祖母・傾・大崩ユネスコエコパークフェア in イオンモール福岡を開催した。

開催日：令和8年1月17日(土)、18日(日)

プログラム及び体験者数：

①パネル展示・クイズコーナー 871名

②木のコースター絵付け体験 445名



③エコパークマスの巨大すごろく 290名

※体験間の重複計上あり




<p>7 祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク だよりの発行 (220 千円) 【高千穂町】</p>	<p>住民団体等や推進協議会の活動を掲載した「祖母・傾・大崩ユネスコエコパークだより」を制作し、6市町の住民やイベントでの配布を行い地域内外への情報発信を行った。 制作部数：20, 100部</p>
	

ブランド形成・調査研究事業

<p>1 祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク ブランド推進 (319 千円) 【豊後大野市】</p>	<p>祖母・傾・大崩ユネスコエコパークブランド認証制度の普及及び拡大に向け、道の駅でのイベント開催や店内掲示用の卓上のぼりの製作を行った。 また、観光・産業振興部会での議論を踏まえ、新たに加工品を認証対象品目に追加し、それに対応する新たなラベルシールを製作した。</p>
<p>○ブランド認証品試食・販売会 日 時：令和7年8月17日（日） 場 所：道の駅原尻の滝 参加者：5事業者</p>	
<p>○卓上のぼり 製作数：70個 道の駅等に設置</p>	
<p>○ブランド認証ラベル 印刷数：50,000枚</p>	
 	

受入環境整備事業

<p>新 1 グレーディング マップ増刷 (462 千円) 【延岡市】</p>	<p>祖母・傾・大崩山系の山歩きを安全に楽しんでいただけるよう、令和5年度に製作した山のグレーディングマップを増刷した。 印刷数：3,000部</p>
<p>2 入山状況調査 (6 千円) 【大分県(各市町)】</p>	<p>祖母・傾・大崩エコパークエリア内の登山口に手動のカウンターを設置し、入山者数の傾向把握に努めた。</p>
	

IV 協議会運営経費

定期報告書作成

<p>新</p> <p>1 ゾーニング図面等更新 (2,006 千円) 【宮崎県】</p>	<p>ユネスコへの定期報告に添付するため、九州森林管理局との合意に基づきゾーニング変更案及び植生図等の図面や、生物種リストなどを更新した。</p>
<p>新</p> <p>2 ユネスコエコパーク世界大会への派遣 (256 千円) 【大分県】</p>	<p>10年に一度開催される「ユネスコエコパーク世界大会」が中国・杭州で開催されたことから、世界動向などの最新情報の収集や、他のユネスコエコパーク等との連携を構築するため、関係者を派遣した。</p> <p><開催概要> 期 間：令和7年9月22日（月）～26日（金） 場 所：中国 杭州 内 容：新たなMAB計画及び行動計画の策定 等 派遣者：学術委員会委員 須藤 智徳 氏</p> <p><派遣報告会> 開催日：令和8年1月20日（火） 場 所：オンライン 参加者：17名</p>

推進協議会・学術委員会・部会

<p>1 推進協議会、部会、学術委員会開催経費 (522 千円) 【大分県】</p>	<p>学術委員会及び各部会に係る謝金及び旅費等を支出した。 ※開催実績及びテーマは前述のとおり</p>
--	---

事務局運営経費

<p>1 JBRN 負担金、運営費、予備費等 (218 千円) 【大分県】</p>	<p>日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）負担金や事務用品費、振込手数料等を支出した。</p> <p>また、昨年度の定例総会の議決に基づき、30by30 アライアンスに加盟し、活動内容を発信するとともに、情報収集を行いネイチャーポジティブに関するオンラインセミナー等に参加した。</p> <div data-bbox="941 1388 1420 2049"> </div>
---	--

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和7年度 決算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項 目	R7年度 予算額(A)	R7年度 決算額(B)	差引 (B)-(A)	備考
負 担 金	12,000,000	12,000,000	0	2県×300万円 6市町×100万円
繰 越 金	2,637,999	2,637,999	0	令和6年度繰越金
雑 入	0	16,222	16,222	預金利息
合 計	14,637,999	14,654,221	16,222	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	R7年度 予算額(A)	R7年度 決算額(B)	差引 (B)-(A)	主な支出内容
I 貴重な生態系の持続的な保全	2,965,000	2,735,013	△ 229,987	
調査研究推進事業	2,100,000	1,944,352	△ 155,648	
委託料	600,000	643,100	43,100	緩衝・移行地域調査概要書作成業務 祖母山9合目付近植生調査
補助金	1,500,000	1,301,252	△ 198,748	緩衝・移行地域自然環境調査助成事業 (4団体)
保全活動推進事業	865,000	790,661	△ 74,339	
報償費	20,000	37,600	17,600	地域づくり情報交換会ガイド謝金
旅 費	160,000	77,750	△ 82,250	地域づくり情報交換会参加者旅費
需用費	25,000	11,668	△ 13,332	Clean活動デー消耗品
役務費	5,000	4,263	△ 737	Clean活動デー保険料
委託料	45,000	49,500	4,500	Clean活動デーチラシ制作委託
使用料及び賃借料	10,000	0	△ 10,000	
補助金	600,000	609,880	9,880	環境保全活動支援事業補助金 (7団体)
II 学術的研究や調査・研修への支援	4,185,000	4,091,455	△ 93,545	
次世代育成事業	2,121,000	2,037,205	△ 83,795	
報償費	24,000	152,525	128,525	次世代育成事業(豊後大野市)出演者謝金
旅 費	71,000	77,360	6,360	高校生夏休み学習・研究プログラム
需用費	0	15,610	15,610	高校生夏休み学習・研究プログラム
委託料	1,850,000	1,702,000	△ 148,000	6市町交流キャンプ 次世代育成事業
使用料及び賃借料	176,000	89,710	△ 86,290	高校生夏休み学習・研究プログラム 次世代育成事業(豊後大野市)会場使用料
BR活動情報発信事業	2,064,000	2,054,250	△ 9,750	
需用費	344,000	334,950	△ 9,050	子ども向け解説冊子(漫画版)
委託料	1,720,000	1,719,300	△ 700	ホームページ改修費用 サーバー管理費

(単位:円)

項目	R7年度 予算額(A)	R7年度 決算額(B)	差引 (B)-(A)	主な支出内容
Ⅲ 自然と共生した持続可能な発展	4,153,000	3,775,562	△ 377,438	
PR・普及啓発事業	3,495,000	2,988,452	△ 506,548	
需用費	818,000	873,680	55,680	公式パンフレット印刷費 イオンユネスコエコパークフェア景品
役務費	175,000	313,500	138,500	バス広告掲載料
委託料	2,502,000	1,801,272	△ 700,728	BRグッズ製作委託(缶バッジ、エコバッグ) インフルエンサー活用した情報発信 外
ブランド形成・調査研究事業	272,000	319,110	47,110	
需用費	272,000	319,110	47,110	ブランド認証シール印刷費 普及用ミニのぼり製作費 外
受入環境整備事業	386,000	468,000	82,000	
需用費	380,000	462,000	82,000	グレーディングマップ増刷費
使用料及び賃借料	6,000	6,000	0	
Ⅳ 協議会運営経費	3,334,999	3,002,067	△ 332,932	
定期報告書作成	2,006,000	2,006,000	0	
委託料	2,006,000	2,006,000	0	定期報告図面等更新業務委託
生物圏保存地域世界大会	317,000	256,190	△ 60,810	
報償費	0	9,000	9,000	ユネスコエコパーク世界大会報告会謝金
旅費	317,000	247,190	△ 69,810	ユネスコエコパーク世界大会参加渡航費
推進協議会・学術委員会・部会	500,000	522,145	22,145	
報償費	300,000	429,000	129,000	学術委員会、部会に係る委員報酬
旅費	200,000	93,145	△ 106,855	学術委員会、部会に係る委員旅費
事務局運営経費	511,999	217,732	△ 294,267	
需用費	50,000	22,322	△ 27,678	消耗品、コピー代
役務費	70,000	90,570	20,570	振込手数料
使用料及び賃借料	15,000	3,640	△ 11,360	イベント出展料
負担金	100,000	100,000	0	JBRN負担金
公課費	0	1,200	1,200	収入印紙
予備費	276,999	0	△ 276,999	
合計	14,637,999	13,604,097	△ 1,033,902	

※予算の執行状況に応じ、各項目間相互に流用できるものとする。

収入 - 支出	0	1,050,124	※(収入) 14,654,221 - (支出) 13,604,097
---------	---	-----------	------------------------------------

監査報告書

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

会長 杉浦 嘉雄 殿

1 監査対象

令和7年度祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会の会計及び会務に係る経理関係帳簿及び証拠書類

2 監査年月日

令和8年4月24日 及び 令和8年4月28日

3 監査意見

令和7年度祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会会計及び会務に係る諸帳簿、証拠書類を照査の上、その内容について監査した結果、帳簿、証拠書類も記帳整備されており計数は正確であることから、適正なものと認められる。

令和 8 年 4 月 28 日 監事 佐伯市長

富高 国子

令和 8 年 4 月 24 日 監事 延岡市長

三浦 久知

< 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和8年度事業（案） >

項 目	概 要
基本方針Ⅰ 貴重な生態系の持続的な保全	
調査研究推進事業	
1 緩衝・移行地域 自然環境調査助 成事業 (1,652千円) 【宮崎県】	緩衝・移行地域の生物に関する基礎的な調査研究を推進 するため、調査研究事業を公募する。令和8年度は4件 の助成を行う予定。
新 2 越敷岳山頂周辺 植生調査 (363千円) 【大分県】	越敷岳(竹田市)付近に比較的まとまって残存しているスズ タケの生育状況を把握するとともに、周辺の植生等を調査 することで将来に向けたモニタリングの基礎資料するため、 専門家による調査を実施する。
地域住民主体の保全活動推進事業	
1 住民活動団体情報 交換会の開催 (200千円) 【高千穂町】	地域の住民活動団体が互いの取り組みを共有し、交流を 生むことで、各地域の取り組みの底上げや更なる発展を 図るため地域づくり情報交換会を実施する。
2 地域全体で取り組 む環境保全活動 (70千円) 【佐伯市】	地域住民の環境保全意識の向上及び自然保全活動推進を目的 として、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのエリア内 で住民参加型の清掃活動を実施する。
3 地域活動実施団体 への支援 (900千円) 【高千穂町】	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのエリア内で活動する 団体が実施する環境保全活動や団体活動の継続等に繋がる 取り組みに対し補助金を交付する。
新 4 自然共生サイトの 認定促進事業 (250千円) 【豊後大野市】	2025年に採択されたユネスコエコパークの世界目標で ある杭州戦略行動計画への対応を進めるため、登録エリア 内の自然共生サイト認定促進を目的とした勉強会の開催や 専門家派遣を行う。

基本方針Ⅱ 学術的研究や調査・研修への支援

次世代育成事業

新	1 小学生向けE S D 促進事業 (500 千円) 【竹田市】	環境保全への関心を高めながら、心の豊かさを培い、郷土への愛着を醸成するため、6市町の小学生やその保護者を対象に、日帰りの自然体験会を2か所以上で開催する。
	2 高校生学習・研究プログラム (500 千円) 【大分県】	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを若年層へ訴求するため、エリア内のユネスコスクール認定高校等と協力して登録エリア内の貴重な自然環境を活用した高校生の研究活動及び相互交流を支援する。
	3 次世代育成事業 (1,200 千円) 【各市町】	次世代を担う子どもたちを、自然を敬い、地域に誇りを持つ人材に育成することを目的に、各市町が地域の特色に応じた取り組みを実施する。 <実施内容(予定)> ・佐伯市：小中学生を対象としたエコパーク体感事業 ・竹田市：こども神楽体験ワークショップ ・豊後大野市：こども神楽大会 ・延岡市：上祝子沢登り体験(北川中学校)及びカヤックを用いた河川清掃・リバーレスキュー研修(九州医療科学大学) ・高千穂町：高千穂の夜神楽こども伝承者の集い ・日之影町：神楽まつり

B R活動情報発信事業

1 公式ホームページ英訳 (880 千円) 【宮崎県】	国外へ向けた祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの理解促進や魅力発信に向け、令和7年度に改修した公式ホームページに対応する英語表記のページを制作する。
2 公式ホームページの保守管理 (99 千円) 【宮崎県】	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの普及啓発や情報発信を行うための公式ホームページの保守管理を行う。

基本方針Ⅲ 自然と共生した持続可能な発展

PR・普及啓発事業	
1 普及啓発グッズ等 製作 (757 千円) 【日之影町】	登録10周年に向け、普及イベントへの出展等で配布する新たなデザインによる缶バッジや、木製ピンバッジを製作する。 (予定数 缶バッジ2,400個、 木製ピンバッジ2,000個)
新 2 地域活動団体紹介 冊子改訂 (1,144 千円) 【延岡市】	登録10周年に向け、前回制作時から5年以上が経過した地域活動団体を紹介する冊子を改訂する。
新 3 木育グッズ製作 (222 千円) 【日之影町】	普及啓発イベントへの出展等で活用するため、この地域に特徴的な生き物をかたどった積み木を製作する。
4 ユネスコエコパーク だよりの発行 (400 千円) 【豊後大野市】	地域住民や地域外の祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの認知度を高めるため、ユネスコエコパークの制度や各市町の地域資源等を紹介する「祖母・傾・大崩ユネスコエコパークだよりの発行」を発行する。
新 5 PRポスター及び のぼり制作 (253 千円) 【佐伯市】	登録10周年に向け、新たなPRポスター及びのぼり旗を制作し、エリア内の施設等で掲示する。 (予定数 ポスター600枚、のぼり旗260枚)
ブランド形成・調査研究事業	
1 ユネスコエコパーク ブランド推進 (272 千円) 【竹田市】	認証品目の拡大を目指すとともに、認証された製品の販売促進のため、道の駅等での普及イベントの開催や、認証ラベルの増刷を行う。
人材育成事業	
新 1 ガイド人材育成事 業 (350 千円) 【延岡市】	登録エリア内で活動するガイドを対象に、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの基礎知識等を身に付け普段の業務で活用してもらうための講習を行う。
受入環境整備事業	
1 入山状況調査 (6 千円) 【大分県】	ユネスコエコパークエリア内の主要な登山口にカウンターを設置し、入山者数の把握に努める。

IV 協議会運営経費	
定期報告書作成	
1 定期報告書英訳業務委託 (2,000 千円) 【大分県、宮崎県】	定期報告提出に向け、日本語文や図面、生物種リスト等の英訳を委託する。
推進協議会・学術委員会・部会	
1 推進協議会、部会、学術委員会開催経費 (600 千円) 【各県市町】	学術委員会及び各部会の開催に係る謝金及び旅費を支出する。 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク学術委員会 (事務局：宮崎県) PR・普及啓発部会 (部会長：日之影町、副部会長：豊後大野市) 観光・産業振興部会 (部会長：竹田市、副部会長：延岡市) 環境保全・人材育成部会 (部会長：高千穂町、副部会長：佐伯市) ※各会とも、年2～3回の開催を想定 令和8年度は、『10周年記念事業』に関する議論や、新たな『管理運営計画』及び『行動計画』に関する議論を含む。
事務局運営経費	
1 JBRN負担金、運営費、予備費等 (433 千円) 【大分県】	日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）負担金や事務用品費、振込手数料の支払い等、事務局の運営に要する経費を支出する。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和8年度 予算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項目	R8年度 予算額(A)	R7年度 予算額(B)	予算増減 (A)-(B)	備考
負担金	12,000,000	12,000,000	0	2県×300万円 6市町×100万円
繰越金	1,050,124	2,637,999	△ 1,587,875	
雑入	0	0	0	
合計	13,050,124	14,637,999	△ 1,587,875	

(支出の部)

(単位:円)

項目	R8年度 予算額(A)	R7年度 予算額(B)	予算増減 (A)-(B)	主な支出内容
I 貴重な生態系の持続的な保全	3,435,000	2,965,000	470,000	
調査研究推進事業	2,015,000	2,100,000	△ 85,000	
委託料	615,000	600,000	15,000	越敷岳山頂周辺植生調査 緩衝・移行地域自然環境調査助成事業
補助金	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	緩衝・移行地域自然環境調査助成事業
保全活動推進事業	1,420,000	865,000	555,000	
報償費	190,000	20,000	170,000	地域活動団体情報交換会 自然共生サイトの認定促進事業
旅費	235,000	160,000	75,000	地域活動団体情報交換会 自然共生サイトの認定促進事業
需用費	40,000	25,000	15,000	地域活動団体情報交換会 地域全体で取り組む環境保全活動
役務費	5,000	5,000	0	地域全体で取り組む環境保全活動
委託料	50,000	45,000	5,000	地域全体で取り組む環境保全活動
使用料及び賃借料	0	10,000	△ 10,000	地域活動団体情報交換会
補助金	900,000	600,000	300,000	地域活動支援事業費補助金
II 学術的研究や調査・研修への支援	3,179,000	4,185,000	△ 1,006,000	
次世代育成事業	2,200,000	2,121,000	79,000	
報償費	30,000	24,000	6,000	高校生夏休み学習・研究プログラム
旅費	120,000	71,000	49,000	高校生夏休み学習・研究プログラム
委託料	1,700,000	1,850,000	△ 150,000	【新】小学生向けESD促進事業 次世代育成事業
使用料及び賃借料	350,000	176,000	174,000	高校生夏休み学習・研究プログラム
BR活動情報発信事業	979,000	2,064,000	△ 1,085,000	
需用費	0	344,000	△ 344,000	(子ども向け解説冊子増刷の廃止に伴う減)
委託料	979,000	1,720,000	△ 741,000	公式ホームページ英訳 公式ホームページの保守管理

(単位:円)

項目	R8年度 予算額(A)	R7年度 予算額(B)	予算増減 (A)-(B)	主な支出内容
III 自然と共生した持続可能な発展	3,404,000	4,153,000	△ 749,000	
PR・普及啓発事業	2,776,000	3,495,000	△ 719,000	
需用費	0	818,000	△ 818,000	(公式パンフレット印刷、イオンユネスコエコパークフェアの廃止に伴う減)
役務費	0	175,000	△ 175,000	(バス広告掲載の廃止に伴う減)
委託料	2,776,000	2,502,000	274,000	【新】地域団体紹介冊子改訂 【新】ポスター・のぼり製作 等
ブランド形成・調査研究事業	272,000	272,000	0	
需用費	272,000	272,000	0	エコパークブランド推進
人材育成事業	350,000	0	350,000	
委託料	350,000	0	350,000	【新】ガイド人材育成
受入環境整備事業	6,000	386,000	△ 380,000	
需用費	0	380,000	△ 380,000	(グレーディングマップ増刷の廃止に伴う減)
使用料及び賃借料	6,000	6,000	0	入山状況調査
IV 協議会運営経費	3,032,124	3,334,999	△ 302,875	
定期報告書作成	2,000,000	2,006,000	△ 6,000	
委託料	2,000,000	2,006,000	△ 6,000	定期報告書英訳業務委託
生物圏保存地域世界大会	0	317,000	△ 317,000	
旅費	0	317,000	△ 317,000	(BR世界大会派遣の廃止に伴う減)
推進協議会・学術委員会・部会	600,000	500,000	100,000	
報償費	400,000	300,000	100,000	推進協議会、学術委員会、部会開催経費
旅費	200,000	200,000	0	推進協議会、学術委員会、部会開催経費
事務局運営経費	432,124	511,999	△ 79,875	
需用費	50,000	50,000	0	
役務費	70,000	70,000	0	振込手数料等
使用料及び賃借料	15,000	15,000	0	
負担金	100,000	100,000	0	JBRN負担金「正会員」
予備費	197,124	276,999	△ 79,875	
合計	13,050,124	14,637,999	△ 1,587,875	

※予算の執行状況に応じ、各項目間相互に流用できるものとする。

ユネスコへの定期報告について

1. 提出の目的

すべてのユネスコエコパークは10年毎に報告書（以下「定期報告」という。）をユネスコに提出し、その地位に関する検討が行われます。

2. 定期報告の取り扱い

ユネスコの生物圏保存地域国際諮問委員会及びMAB計画国際調整理事会が内容を検討し、ユネスコエコパークとしての運営が適正であると判断された場合、その旨が認定されます。

また、ユネスコエコパークとしての基準を満たしていないと判断された場合、国際調整理事会から、基準を満たすための履行確保策を講じるべき旨の「提言」が行われます。

『生物圏保存地域世界ネットワーク定款』

第9条 ー 定期的検討

1. 各生物圏保存地域の地位については、第4条の基準を踏まえて関係当局が作成し当該加盟国から事務局に対して提出される報告書に基づいて、10年ごとに定期的検討を行う。
5. 生物圏保存地域が第4条にいう基準をもはや満たしていないと国際調整理事会が判断した場合、同理事会は、関係国が自国の文化事情・社会経済事情を勘案して第4条の規定の履行確保策を講じるべきである旨の提言を行うことができる。国際調整理事会から事務局に対して、この種の措置の実行に際して当該国への支援でどのような措置を執るべきなのか明らかにする。

3. 提出の方法

2027年の定期報告から、定期報告の提出方法が変更になります。

従来：Word等で作成した文書のデータ送付

今後：「オンラインフォーム」での提出

それに伴い、従来とは報告の内容が一部変更されています。

4. 今後のスケジュール

国への日本語での報告書提出期限は2026年内が想定されます。

その後、日本ユネスコ国内委員会等での報告書の内容検討・修正提案等を経て、2027年9月末が日本国からユネスコへの提出期限となります。

5. 本日の伺い事項

(1) ゴーニングの変更点

(2) 新たなオンラインフォームに従い事務レベルで執筆を完了すること

ただし、会長・学術委員会等の助言を受け、提出前に各委員へ回覧する

定期報告の内容について

テーマ	主な回答内容
A. 生物圏保存地域の概要	名称、登録年、面積、人口などの基本情報
B. 生物種	最新の生物種リスト（IUCNのレッドリスト掲載種等を明記）
C. 基準への適合	登録基準を継続して満たしていることの証明（生物多様性保全上の重要性＝各生物種の詳細、持続可能な開発の状況、 ゾーニングの妥当性＝変更申請 、幅広い関係者の関与、活動推進体制）
D. 保全機能	法的保護の概要、 各種保全プログラム の現状や効果、 ニホンカモシカ や ニホンジカ 問題の現状と対策 等
E. 開発機能	域内の農林業や観光業の状況、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークブランド認証制度 、その他企業活動のトピックス（バイオマス・小水力発電、資源活用） 等
F. 後方支援機能	研究・モニタリング団体やプログラムの概況、教育機関との連携、一般向けの普及啓発事業の状況、伝統的地場知識の活用 等
G. ガバナンス及び調整	全体的な推進体制、管轄行政機関の変化、地域住民・女性・若者の参加やその仕組み
H. 管理と財政	管理運営計画等の進展、各自治体や国の戦略との統合状況、地域内の多様なグループ連携状況、予算及びスタッフ 等
I. 特性	生物地理区、気候、地質・地形、生息地タイプ分類 等
J. 土地利用	地域経済、景観、生息地利用の重要な変化、行政区域の土地利用計画の写し
K. 人口	地域の文化発展プログラム、文化的価値観の変化 等
L. 生態系サービス	域内の最新状況と参考指標（県生物多様性戦略等）、OECM及びおおいたの重要な自然共生地域の推進 等

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのゾーニング変更について

<ゾーニング>

ユネスコエコパークは、3つの機能に応じたエリアにゾーニング

- ・ 核心地域 …… 自然環境を厳格に保護する地域
(森林生態系保存地域「保存地区」)
- ・ 緩衝地域 …… 核心地域と移行地域の緩衝となる地域
ユネスコエコパークの目的に沿う経済活動は認められる
(森林生態系保存地域「保全利用地区」
+ 核心地域以外の国定公園特別保護地区
及び特別地域 等)
- ・ 移行地域 …… 持続可能な発展を目指す地域

※ () 内は祖母・傾・大崩ユネスコエコパークにおける現在の該当理由

<変更の経緯>

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークは、2017年の登録にあたり、「国定公園の他のエリアを加えることによって核心地域を増やすこと。また、県立公園を加えることによって緩衝地域を増やすことに対する実現可能性を探るよう勧める」との生物圏保存地域諮問委員会から勧告を受けた。

登録直後から、土地所有者である九州森林管理局や文部科学省その他学術機関等と、国有林を広く対象とすることで核心地域・緩衝地域の面積比率が全体の10%以上になるよう調整・協議してきた。

令和8年3月、核心・緩衝地域の土地所有者である九州森林管理局からゾーニングの変更に関する書面での同意を得た。

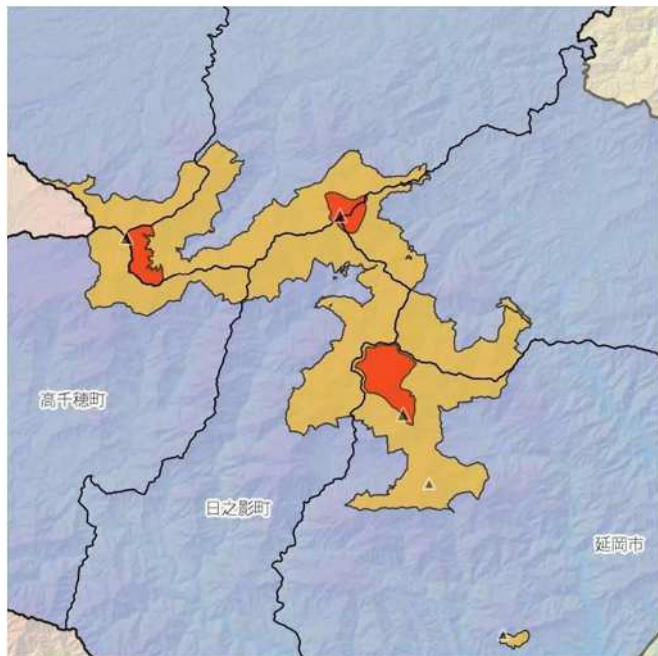
<面積整理表>

単位：ha(%)

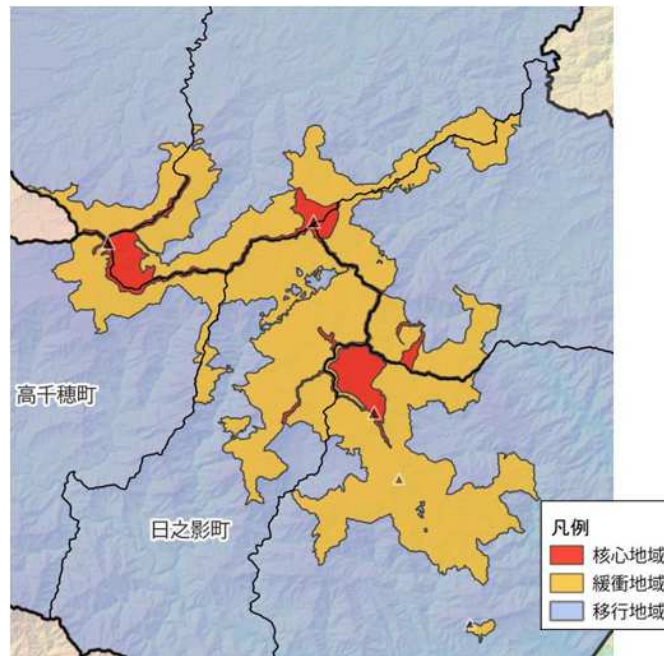
ゾーニング	現行	変更後	増減
核心地域	1,580 (0.6)	3,071 (1.3)	1,491 (0.7)
緩衝地域	17,748 (7.3)	26,550 (10.9)	8,802 (3.6)
移行地域	224,344 (92.1)	214,051 (87.8)	△10,293 (△4.3)
計	243,672 (100.0)	243,672 (100.0)	0

＜変更前後のゾーニング＞

現在



変更後



ゾーニング変更に係る保護規制等整理表

ゾーニング		国有林野の管理経営に関する法律（地域管理経営計画）							保護林以外の 国有林
		保 護 林							
		森林生態系保護地域		生物群集 保護林	希少個体群保護林				
		保存地区	保全利用 地区	鬼の目山	大石榎山 アカガシ等	柏山アカマツ 遺伝資源	ニ上ケヤキ		
自然公園法	国定公園	特別保護地区 (大分側のみ)	核心	緩衝→ 核心	-	-	-	-	-
		第1種 特別地域	核心	緩衝→ 核心 <small>(高森・五ヶ瀬隣接は 緩衝維持)</small>	-	-	-	-	緩衝→ 核心 <small>(高森・五ヶ瀬隣接・行 跡は緩衝維持)</small>
		第2種 特別地域	核心	緩衝	-	-	-	-	-
		第3種 特別地域	核心	緩衝	緩衝	-	-	-	緩衝
	普通地域 (宮崎側のみ)	-	-	-	-	-	-	移行→ 緩衝	
	県立 自然公園	普通地域	-	緩衝	緩衝	-	-	-	移行→ 緩衝
	該当外	該当外	-	-	-	移行→ 緩衝	移行→ 緩衝	移行	移行→ 緩衝※

※中心から遠く離れた飛び地の国有林は移行維持

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク 定期報告関連スケジュール

R8.4.1時点

作業項目	担当	2024 R6年			2025 R7年			2026 R8年			2027 R9年			2028 R10年															
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ワーキンググループ		座長 竹田市			佐伯市			豊後大野市			延岡市			竹田市															
		副座長 佐伯市			豊後大野市			延岡市			竹田市			佐伯市															
報告書作成	報告書初校作成	2県6市町																											
	専門家レビュー/報告書の内容報告	●			●			●			●			●															
	報告書修正作業	2県6市町																											
	報告書内容の報告/承認	推進協議会総会			●			●			●			●															
	和文提出	事務局									●			●															
	和文修正対応(提出後)	2県6市町																											
	英文報告書作成	翻訳受託業者																											
英文提出	事務局									●			●																
ゾーニング変更協議	九州森林管理局との協議書の内容調整・取り交わし	事務局			●			●			●			●															
		九州森林管理局			●			●			●			●															
図面作成	図面修正作業	受託業者																											
	専門家レビュー	学術委員会			●			●																					
日本ユネスコ国内委員会科学小委員会MAB計画分科会											●			●															
日本ユネスコ国内委員会事務局(文部科学省 内)														●															
ユネスコ本部														●															
国際諮問委員会(ICABR)														●															
MAB国際調整理事会(MAB-ICC)														●															

※定期的検討について、ユネスコが提出方法及び設問の見直し作業を行っている。当ユネスコエコパークは現在の文書形式に替えオンラインフォームでの提出になる。